

「N-ウェーブ」が「富山県発明とくふう展」で「富山県知事賞」を受賞

当社製品「N-ウェーブ」が、「第45回富山県発明とくふう展」で「富山県知事賞」を受賞しましたので、ご案内致します。



作品名称：Nウェーブ（特許出願中）

出品者（発明者）：ジャパンパック株式会社 営業企画部 長田光弘

従来、パソコンや電子機器などの梱包には樹脂製の緩衝材や、伸び縮み可能なフィルムを貼り合わせて挟み込ませた物などがあるが、これらは使用後の廃棄が困難であり、更にコストが高価である事からこの梱包方法は一部の限られた製品に限定されていた。環境に優しく梱包が容易で材料の全てを紙製にし、なおかつ製品を傷付ける事なく輸送する為に再生段ボールにストレッチ性能を持たせ衝撃を吸収できる構造を開発した。

従来の樹脂性などの緩衝梱包材と比べ当製品は非常に安価である事から電子機器やCD・DVDなどはもちろん、コップや皿、ガラス類等雑貨類の輸送にも適している。再生段ボールを当社独自の特殊構造により波型に連続的にカットする事により伸び縮みが可能となり製品を優しく輸送することが出来る。ユーザーごとに箱の大きさ、内側の構造体（N-ウェーブ）の波の大きさ、材質を変える事も可能。印刷も容易に出来、企業やお店のイメージアップにも繋がる。

外装・内側の構造体（N-ウェーブ）共、全て再生段ボール製。N-ウェーブは製品が乗る段ボールシートの上に波状に連続的にカットしてある。なおかつ波と波の間は繋がっていて、製品の落下や段ボールがちぎれるのを防ぐ。製品を乗せると波が沈み柔らかく受け止める。その上からもう1枚同じN-ウェーブを逆に乗せ、製品を挟み込んだ状態で外装を封緘する。そうする事で製品が外装内の中心で浮いている状態になり、なおかつ上下から波状に連続カットした段ボールが衝撃を吸収し輸送する事が出来る従来にはない独自の特殊構造による新梱包形態である。

また、本作品は「2006 日本パッケージングコンテスト」に於いて、グッドパッケージング賞「電気機器包装部門賞」も受賞している。